

# 玉川教会たより

NO. 482

2016年5月15日

町田市玉川学園4-5-32

TEL. 042-732-9321

FAX. 042-732-9337

Eメール chiyosi514@yahoo.co.jp

6月12日礼拝説教抜粋

【宝物をだましとる】

創世記27:18~29

▼今日は教会学校との合同礼拝です。子どもの集中力に合わせて、10分程度の説教にしたいのですが、それではさすがに大人の方がものたらないでしょう。

そこで7~8分づつ3話でお話したいと思います。

前の二つは、何れも、CS礼拝で私が担当した箇所です。



▼最初は、創世記4章、カインとアベルの話です。→省略。

▼二つ目のお話しは、創世記22章、アブラムがイサクを献げる話です。小さいお子さんは、ここでカーペットルームに移っても結構です。お手洗いに行っても良いですよ。→省略。

▼三番目、最後のお話しは、創世記17章、ヤコブが祝福をだまし取る話です。小さいお子さんは、ここでカーペットルームに移っても結構です。お手洗いに行っても良いですよ。

▼狡いと思いませんか。ヤコブのしたことは、狡いと思いませんか。それから、弟を偏愛した母のリベカには問題があると思いませんか。もっとも、母リベカのこと記されているのは、読んで頂いた箇所の一寸前です。父ヤコブはヤコブで、兄のエサウを偏愛しています。

とにかく、ヤコブは父親を騙して、祝福を自分のものにしてしまいました。その結果、端折って言えば、ヤコブはイスラエルの直接のご先祖様となったのです。こういうずるいことをして、イスラエルとなったのです。

イスラエル人は、こんな人物を、尊敬し、自分のご先祖として誇りに思うのでしょうか。

ヤコブがずるいことをする話は他にもあります。

▼聖書の世界と同じ世界で生まれたアラビアンナイトを読みますと、狡く立ち回ることが知恵、才覚、美徳のように描かれていることがあります。

アリババと40人の盗賊、シンドバットの冒険、アラジンと魔法のランプ、全部、泥棒の上前をはねるような話とも言えます。

この三つがアラビアンナイトの中でも最も良く知られた物語です。もっとも、本当の民話ではなく、アラビアンナイトが西欧世界向けに編纂・出版された時に、目玉になる物語が欲しいと言うことから、創作されたもの、本来は民話ではないという説もあります。

▼さて、この難しい話を、農耕民族と狩猟民族の対立と融合、定住と放浪の相対立するイデオロギーといった観点から整理することが可能です。多分それが正しい読み方だと思いますが、今日はCSとの合同礼拝ですので、そういう学問的読み方は止めておきます。



→ 2頁へ

聖書そのものに聞くことにします。欺き奪ったヤコブではなく、まんまと奪われてしまった、エサウのことを考えてみましょう。

今日の箇所少し前に、こんな話があります。創世記25章27節以下です。

端折って言いますと、お腹を空かして帰って来た兄エサウは、弟の作っていた料理が食べたくて、食べさせて欲しいと願います。すると、ヤコブは、『まず、お兄さんの長子の権利を譲ってください』と言います。この『長子の権利』が、今日の箇所の祝福のことです。兄エサウは、『ああ、もう死にそうだ。長子の権利などどうでもよい』と答えます。つまり、エサウは、一杯の煮物のために、『長子の権利』を売り渡したのです。ずるいと言えざるいのですが、エサウには、『長子の権利』も神さまの祝福も、一杯の煮物分の値打ちもなかったのです。

▼つまり、この物語は、ずるく立ち回って得をしたという話ではありません。そうではなくて、熱心に熱心に、一つのことを追い求めたという話なのです。一番大切なもののためには、他のものを失ってもかまわないという話なのです。

そうして見ると、アラビアンナイトの物語も、ずるく立ち回って得をしたということではなく、一つの宝物を何処までも追い求めた話かも知れません。

ヤコブは宝物を求めたのです。神さまの祝福を宝物だと思ったのです。

▼私たちは、宝物として聖書の言葉を追い求めているのか、それが問われています。神さまの国に入るためなら、他のことは諦めても、かならずそこに行きたいと願っているか、それが問われています。

## CS分級報告・中高科高学年

伊藤多香子

「今日は何する？」

教会学校の礼拝が終わると、中高生が「先生、今日は何する？」と言いながら集まってきます。「神さまはどのようなお方か？」とか、「三位一体って何？」というようなキリスト教の教義について学ぶことは年に1回あるかないかです。工作や手芸、ゲームをしながら、「学校どう？」、「試験はもう終わったの？」と毎日どんなふうにご過ごしているかを尋ねあい、違いや共通点から話がはずむこともあります。

毎週来ている生徒もいれば、久しぶりに出席できた生徒、学校のレポートのために初めて教会に出席して恥ずかしそうにしている生徒もいます。

調子がよくなってくると、止めても止めても笑いが止まらず、話も絶えることのない「お年頃」ですから、20分足らずの時間でみんなが笑顔になれる場所になる事を考えて、あれこれ計画しています。

今は夏休みに何かしたい！！という中高生の要望に応えるべく、教師が休みをとれるのか？が課題です。お祈りください。

